

平林・砂山小学校 統合合同検討会会議録（要旨）

【H28. 7. 28 砂山小学校】

参加者：45名

小学校保護者22名、保育園保護者4名、集落区長10名、郷育1名、
地域の方4名、学校4名

- ・開会
- ・教育長あいさつ
- ・これまでの経過等説明
- ・質疑応答～検討

参加者 統合は児童の減少でやむを得ないと思うが、学校の場所は今は白紙状態ということで、今後検討していくという流れか。

参加者 砂山小学校の校舎新築竣工時に、老健施設にも転用できるように造られているという話があったと思うが。

教委 1つ目の質問については、白紙で今日のこの場を迎えている。
2つ目の質問であるが、当時の担当及び出席した者に確認したところ、竣工式では転用とか老健とかいう話は一切していないという話であった。

参加者 津波に対する考え方を聞きたい。

教委 参考に市防災担当よりの「津波ハザードマップ」を皆様に配布させていただいたが、考えられる最大のマグニチュード8.09ということで、それに対して専門家に依頼して浸水区域を定めたものによると、砂山小学校までには達しないという結論が出ている、これを根拠としたいと考えている。

参加者 一番に我々が考えることは子どものこと、子どもが大きなステージに立とうとしたら、親はその背中を押してやらなきゃいけないと私は思っている。

参加者 これまで統合されてきた学校があるが、その中でどういう問題、どういうデメリットがあったのか、今回の小学校の統合と中学校の統合に対してどういう問題が想定されると考えるか。

教委 これまでの村上市立学校の統合については、そういった資料は持ち合わせてないし、今現在のことしか、はっきりわからないというのが実態である。
朝日中学校は6中学校が統合になった時、1学年5クラスになったと思うが、あの頃の子どもたちには元気な生徒もおり、荒れていた時期もあった。しかし、今現在は大変落ち着いた学校となっている。
また小学校については、朝日地区の統合では統合になったから不登校になったとか、いじめにあったとかそういったことは一切なかったと記憶する。
統合ということになると両校の子どもたちの交流を図り、2から3年間をかけて様々な教育課程等も合わせた問題を、保護者・先生が一緒になって検討していき、仲良く理想的な学校経営を行うために、皆様と力を合わせていかなければいけないと考える。

教委 地域から学校がなくなることは、本当に切ない話だということは重々承知しているが、それでも何とかして子どもの成長のために、これから難くなる世の中を生きていくために、人と関わり合う、切磋琢磨し合う、そういう環境で過ごせる環境を、子どもたちのために大人の知恵で何とか協力を願いたい。

参加者 統合することには賛成であり、統合するいい機会ではあると思うが、できるだけ安全な場所ということで、子どもたちの安全を考えていただきたい。ひとつ提案であるが、候補地としては是非平林中学校跡地を一つ考えていただきたい。

教委 区長方であれば地域のお声を、保護者であればPTAでの意見を吸い上げてきていただき、話し合っ決めていく。決して今どっちの学校を使うんだということの進行を求めたわけではない。

- 参加者 住民の意見が平林小学校にという話になった場合、ゼロベースであれば改修とか、場合によっては新築とかという話になるのか。
- 教委 平林小学校を使用するとなれば教室等の関係もあるし、様々な付属施設の拡充は必要であると考える。
- 参加者 そうなった場合は、改修するということでよろしいか。
- 教委 そういう段階までは我々の方では検討をしていないのでお答えできない。そこまで突っ込んだ計画は立てていないので、今後の課題となる。
- 参加者 前回の統合検討会の時には31年度目途の統合であったが、32年度統合ということで進んでいるのか。
- 教委 中学校の検討会等実施する中で、小学校と中学校を一緒に進めたのでは保護者も子どもたちも混乱をきたすところが大いということで、小学校については31年から32年にスケジュール案を変更させていただきたい。
- 参加者 体力低下や経費も掛かるが、子どもの安全を考えて保護者はスクールバスに乗せたいと思うので、全員バス乗車の案を出してほしい。
- 教委 ここだけをバス運行ということは公平性に欠けてしまうし、経費に対しても市の財政が決まっている中で果たして可能かといった大きな問題になっていく。検討の中で果たして示せるのかどうかは難しい。今後スクールバスについては部会で検討しながら、この集落は4キロないけどバスが必要だという理由等があれば、その中である程度の融通を利かせることもあると思う。すべてというのは現実的でない。
- 参加者 神納地区の小学校も32年の統合なのか。1年延びるということで、ただ1年延ばすだけのことか、それとも空いた中学校の利用を前提に含めた統合計画の年数の見直しなのか。
- 教委 神林地区の小学校統合は神納地区も1年延ばしたい。一年延ばすという理由の中に、平林中学校を利用するということは今のところ念頭に入っていない。平中と神中についてもまだ合同の検討会を開いていないので、平中の校舎が空くとか、そのような確認はしていない。その上で1年遅らせたというのは一緒だと色々な面で大変なのではないか、事務的な手続きで区長の方も開校、閉校と小学校中学校同時になると携わる人が同じような方になる可能性から、ずらす必要があるのではないかという案になった。
- 参加者 小学校の方が危ないと思うが、1年を延ばしても複式は大丈夫なのか。
- 教委 現在の予想では平成33年に砂山小学校が複式になる可能性があるが、中学校で複式はおこらない。教育委員会としては、もしどちらかをずらすとなったらやはり中学校の方を早めに望ましい2クラスになる環境を作ってあげたい。
- 参加者 冒頭の説明の中で平林小学校区の区長方から要望なりが出たという話であるが、それはどんな内容だったのか。
- 参加者 平林小学校の方が児童数が多くなるので、できれば平林小学校をということ。そして一番心配なのは津波があった時、万が一のことを考えたら、高速道路の先の中学校を小学校にした方がいいのではという提案をした。
- 参加者 教育委員会のスタンスとしては平林区長がおっしゃった内容を聞いたということか。それをベースにして教育委員会の考え方もある方向に定まっていくというようなとらえ方か。
- 教委 人数の多い方に少ない方が来なければならないというような判断はできないので、今後検討していかなければならないと思っている。

参加者 100年後の津波を考えるのであればそれは分かりません。学者の先生も地震の予知は不可能だと言っているのに、それにとまなう津波というのも全く予知できません。個人的な意見であるので、津波を想定してそこを物事の基準にして考えるというスタンスはあまり感心しない。現状をとらえて子どもたちの学習環境をどうしてやるかというところに論点、視点を置いて問題を解決していかなければ進まないと思う。

参加者 中学校の説明会を9月6日に、神林全体で中学校の統合について話し合いをまたこういった形で開いて、それを受けて検討会を代表者で進めていくというようなスタンスになるのかなという感じがする。急ぐのは中学校なのではないか。小学校の方はそういった地盤を固めてから、検討に移していった方が良いのではないか。中学校の方は、年度が迫っているが、小学校の方はそういった形でゆっくりできないのか。

教委 大変貴重な意見ありがとうございました。区長方の考えも踏まえた上でのご発言だったと思う。

参加者 説明会ばかりやっているといろんな意見ばかりが出て收拾がつかなくなるという感じもしていたので、一本線を引き今まで話が出ていた内容を整理してもらいたい。統合するための代表者を選び、進めて行かないと前に進まないと思う。

教委 神納中学校区での説明会でも、いちばんの基本は合同検討会です。そこでもって話し合っただけで決定していく。

参加者 統合推進委員会設置の中のPTAや区長、学校とかの代表の選び方は、数年後にはその保護者の子どもは関係なくなっている可能性があるのでは、年度ごとに替わるわけではないが、どうなるのか。

教委 どの方を願うかは、それぞれの学校で判断してほしい。区長さんについてももしっかり意見を頂ける代表の方であってほしいと思っている。

参加者 今時点で白紙じゃなくて決まっていることは何か。統合するというだけなのか。

教委 現在のところ子どもたちの望ましい教育環境のためには学校統合はやむを得ないだろうと、それに向かって話し合っていく段階である。

参加者 小さな学校には、良さはある。みのり保育園で一緒なのに、また小学校でわかれてしまうことは、子どもにとっても不安になる。子どもたちにとってどうなのかをしっかりと考えて進めてほしい。地域の方々の意見も大事であるが、子どもたちにとって一番何が大事かをお願いしたい。

教委 貴重なご意見をいただき有難うございます。様々なご意見をいただき今後検討するために、それぞれの代表者をお願いして進めていきたいがいかがか。

反対意見無く、了解をいただく。

・閉会